題名の無いの願い曲

ルー１０

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

題名の無いの願い曲

【Ｎコード】

Ｎ８６１１Ｖ

【作者名】

ルー１０

【あらすじ】

「Ｄｒｅａｍ・Ｍｕｓｉｃｈ」という通称「願い屋」を、やっている『ギダル＝グリーンローズ』と助手の『いろは』。ギダルは、音楽紳士（ミュージックジェントルマン）で、いろんなジャンルの曲を作るのが趣味。しかし、彼の本当の姿は…。助手のいろはは、願いを叶えて欲しい人を連れてくる女の子。彼女は謎が多く、ギダルにも分からない事がある。これからやってくるさまざま人間に、いろんな曲を作っては、願いを叶えるという事をやっている。

孤独な少女（前篇）（前書き）

初めて掲載する作品です！下手くそな部分が沢山ありますが、コメントなどで荒らすのはやめて下さい。お願いします。それでは、始まり始まり～（＾・ω・＾）

孤独な少女（前篇）

もしも、今すぐ願いが叶うなら何かを捨ててもいいですか？
後先の事は考えずに、後悔をしてでも叶えたいですか？
それでも叶えたいならば、決死の覚悟はできているんですね？
ではどうぞ、お入り下さい。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

今日も私は一人。周りの人たちは、友達がいるけれど、私にはいない。家族もいない。そんな孤独な私に一体、幸せは訪れるのだろうか？幸せが訪れるのならば、夢を叶えたい。家族、友達が欲しい…！「水本さん、これ残ってやってくれない？」「…はい、分かりました。」「ごめんね。夕実（ゆみ）ー！待ってー！」水本加菜（みずもとかな）という、自分の名前を忘れてしまいそうな日々。頼まれたプリント類を、片づけて教室を出た。すると、廊下に…子供？ここは高校だし、時間も7時を過ぎている。「ねぇ、お姉さん！願いを叶えてあげようか？」「…何言ってるの？せんせ…お母さんは？お父さんは何処に行ったの？」「そんな人いないよ。お姉さんと同じ家族がいないんだよ」何で私の事を知っているんだろう？よく見たら、真っ白のワンピースを着ている。裸足で真っ白な肌。少し怖くなった。

「お姉さん、早く行こうよ！」私の腕を握って引っ張っていく。校舎から出て行くと…あれ？目の前にはグラウンドではなく、見た事なの無い大きな屋敷が建っていた。「…ここ、どこ？」「さぁ、着いたよ。ここが願いを叶えてくれる曲を作っているところ！」「ちょっと待って、私、願いを叶えて欲しいって一言も言ってないんだけど…」「心の中が丸見えだよ。叶えて欲しい事があるって。」「…っ」何なの？この子？心の中が見えるって…。「さぁ、入って入って！」女の子にまた手を引っ張られて連れてかれた。風が、まるで私を歓迎するかのようにざわざわと、音を立てた。

カラン、コロン。屋敷に入ってベルが鳴った。薄暗くて、人の気配

がしない。すると、目の前に歪んだ空間（？）が出てきて、小さなシルクハットを頭に付けた若い男の人が現れた。「Ｄｒｅａｍ・Ｍｕｓｉｃｈへようこそ。お待ちしておりました。失礼ですが、お名前は…」「あっ、水も…」「ギダル様、私が連れてきたんだよ！」「そうですか、分かりました。じゃあ、この方はここに来るのが初めてのようですね。」「…はい、そうです。」「ここは、曲で願いを叶える通称『願い屋』をやっているお店です。自分が叶えて欲しい願いを、僕がそれに合う曲を作って、歌ったり弾いたりする事をやっています。」何か、すごい事をやっている人だな。「早速ですが、叶えて欲しい事は何ですか？」「あ、あの！家族が欲しいんです！もし、駄目でしたら友達でも良いです！とにかく、私が孤独にならなければいいんです！」…つい、言ってしまった。叶えて欲しい気持ちが強くなったのだろう。「かしこまりました。では、いろは。部屋に案内しなさい。あ、申し遅れました。僕の名前はギダル＝グリーンローズ、どうぞギダルとお呼び下さい。こちらは、助手のいろはです。」すると、いろはさんに連れられて2階に上がった。しばらくすると、ギダルさんが来た。「良ければ、貴女の好きな楽器で演奏したいのですが。何かありますか？」「別に、何でもいいですよ。」「承知いたしました。では、ピアノで演奏したいと思います。聞いて下さい『みんながいるから』」演奏し始めると、聞き惚れてしまいそうな美しい歌声が、優しいメロディに乗って流れてきた。「わぁ…」しばらくすると、眠くなってきた。完全に眠ってしまいそうな時、ギダルさんはこう言った。「あなたの夢が、叶いますように…」―目が覚めると、家にいた。すると、誰もいないはずなのに声がした。「加菜ー！起きなさい！」―

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n8611v/

題名の無いの願い曲

2011年10月9日03時33分発行